

# 伐採及び伐採後の造林の届出書

令和 年 月 日

山都町長 殿

森林(土地)所有者 住所  
氏名  
(代理人の場合はその続柄 )

連絡先

伐採者 住所  
氏名

連絡先

※署名又は記名押印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

## 1 森林の所在場所

上益城郡 山都町 大字	字	地番(林小班)
-------------	---	---------

\* 複数地番の場合別紙一覧に記入すること。

## 2 伐採及び伐採後の造林の計画

別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

## 3 備考

--

## 注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 登記簿記載の土地所有者以外の者が提出する場合には、長期施業受委託契約書や立木及び土地の売買契約書等を添付すること。
- 共有地の伐採を行う場合には、共有者全員の同意書を添付することとする。同意書の提出が困難な場合には、代表者による誓約書等を添付すること。
- 当該伐採箇所の位置を示す地図を添付すること。

(別添)

## 伐採計画書

伐採者 住所  
氏名

### 1 伐採の計画

伐採面積	ha (うち人工林 ha、天然林 ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	% (皆伐の場合100%)
作業委託先	住所 連絡先 氏名 ※業務を委託する場合のみ記入		
伐採樹種	杉・桧・クヌギ・雑木・その他( )		
伐採齢	年生		
伐採の期間	年 月 日～ 年 月 日		
集材方法	集材路・架線・その他( )		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員	m・延長	m

### 2 備考

--

#### 注意事項

- 1 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 2 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 3 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「○～○」のように記載すること。
- 4 伐採の期間が1年を超える場合においては、伐採の計画を年次別に記載すること。

※主伐後、森林(土地)所有者は、計画的かつ確実な植栽及び保育を実施しなければなりません。(森林経営管理法第38条)  
※間伐の場合には、本書の提出の必要はありません。

(別添)

## 造林計画書

森林(土地所有者) 住所  
氏名  
(代理人の場合はその続柄 )

### 1 伐採後の造林の計画

造林面積	※(A)+(B)+(C)+(D)	ha
作業委託先	伐採者・森林組合・その他( )	
鳥獣害対策	シカネット・その他( )・なし	

\* 造林計画面積は伐採計画書記載の面積と合わせること。

#### (1)人工造林の計画

植栽による面積	※(A)	ha
人工播種による面積	※(B)	ha
造林期間	年 月～ 年 月 (伐採後2年以内)	
造林樹種	杉・桧・クヌギ・その他( )	
植栽本数	本 (目安:3,000本/ha)	

#### (2)天然更新の計画

ぼう芽更新による面積	※(C)	ha
天然下種更新による面積	※(D)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み その他( )・なし	
造林期間	年 月～ 年 月 (伐採後5年間)	
造林樹種	クヌギ・広葉樹・その他( )	

※ 5年後において適確な更新がなされない場合

造林期間	年 月～ 年 月 (伐採後2年以内)	
造林樹種	杉・桧・クヌギ・広葉樹・その他( )	
植栽本数	本 (目安:3,000本/ha)	

\* 天然更新を計画する場合には必ず記入すること。

#### (3)伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

--

\* 開発を行う場合は、開発区域を示した図面を添付すること。

### 2 備考

--

## 注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 植林による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 3 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 4 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 6 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 7 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途の欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

別紙一覧（伐採及び伐採後の造林届出書添付用）

番号	所在		地目		面積	林小班
	町又は字	地番	登記簿	現況	登記簿 (㎡)	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
合 計						